

## 先進的な学校トイレに関する他市事例

No.	所在地	学校名	特徴
1	新潟県	糸魚川市立糸魚川小学校 糸魚川市立ひすいの里総合学校	色彩に工夫・木材利用・おこもりトイレ
2	新潟県	三条市立大崎学園	多機能トイレ・交流スペース
3	神奈川県	川崎市立はるひ野小中学校	視認性・交流スペース
4	愛知県	豊川市立西部中学校	「選べる」トイレ・男女共用個室
5	大阪府	枚方市内小中学校	トイレ整備における基本的な考え方の策定 (SDGs の理念に基づいたトイレ環境整備)
6	福岡県	嘉麻市立稲築東義務教育学校	未来を見据えた空間の可変性を有するトイレ

## バリアフリー対応の学校施設

No.	所在地	学校名	特徴
1	東京都	町田第一中学校	スロープ・手すり・引き戸・エレベーター・ バリアフリートイレ
2	埼玉県	さいたま市立与野本町小学校	スロープ・手すり・エレベーター・ バリアフリートイレ・カームダウン空間
3	沖縄県	沖縄市立越来小学校	スロープ・手すり・滑りにくい床材

No.1（先進的な学校トイレ）

学校名称	糸魚川市立糸魚川小学校 糸魚川市立ひすいの里総合学校
所在地	新潟県糸魚川市中央1丁目2-1
建物用途	小学校（公立）、特別支援学校（公立）
延床面積	9,166 ㎡
構造・階数	RC造一部S造・地上2階建
整備時期	2014年（新築）

特徴



男子トイレ

清掃などに配慮し、壁掛け型タイプを多用。高学年用の小便器は個別に色を変え、それぞれに小窓を設置するなど、おしゃれな空間になっている。



女子トイレ

壁には県産の杉を使っている。乾式と湿式の両方の床掃除ができるように床はタイルを採用。



おこもりトイレ

一人でゆっくりとこもりたい児童に配慮して、木材で覆われたリラックスできるブース。



洗面台

トイレの外の洗面台は、手を洗うほか、歯を磨いたりするのに使う。廊下との仕切りはあえて設けずに床材を変えている。

[出典]

みんなの教育技術 <https://kyoiku.sho.jp/15821/>

学校のトイレ研究会 <https://www.school-toilet.jp/case/nigata.html>

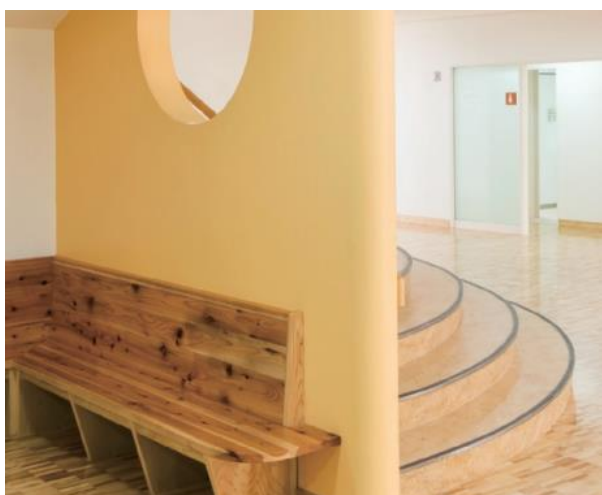
創建築事務所 [https://sou-arch.com/portfolio-item/itoigawa\\_primaryschool/](https://sou-arch.com/portfolio-item/itoigawa_primaryschool/)

猪又建設株式会社 [https://www.inomata-k.jp/publics/index/62/detail=1/b\\_id=207/r\\_id=69/](https://www.inomata-k.jp/publics/index/62/detail=1/b_id=207/r_id=69/)

No. 2 (先進的な学校トイレ)

学校名称	三条市立大崎学園
所在地	新潟県三条市東大崎 1-14-74
建物用途	義務教育学校（公立）、地域交流室、地域活動室、学童保育
敷地面積	45,318.6 m <sup>2</sup>
延床面積	11,640.1 m <sup>2</sup>
構造・階数	地上 4 階建
整備時期	2018 年 4 月（増築）
児童生徒数	前期 22 学級：541 名 後期 11 学級：255 名（2022 年 5 月 1 日現在）

特徴



特別教室棟 1F トイレ入り口付近

1 年生から 9 年生、さらに地域の人達も一緒に使う校舎はトイレ周辺をはじめ多数の場所に交流スペースが配されている。



シャワールーム

保健室内にあるシャワールーム。漏らしたり、嘔吐で汚れた際などに利用する。



特別教室棟 1F トイレ

地域交流室や武道館近くのトイレ。さまざまな方の利用が想定されるため多機能トイレを設置。また、災害時避難所となった際の利用者を考慮して温水洗浄便座を設けている。

[出典]

学校のトイレ研究会 <https://www.school-toilet.jp/case/nigata.html>

三条市 <https://www.city.sanjo.niigata.jp/>

大宇根建築設計事務所 <https://www.oune-arch.co.jp/>

No.3 (先進的な学校トイレ)

学校名称	川崎市立はるひ野小中学校
所在地	神奈川県川崎市麻生区はるひ野 4-8-1
建物用途	小学校 (公立)、中学校 (公立)、地域連携室、ランチルーム、学童保育
敷地面積	30,682 m <sup>2</sup> (うち 7,894 m <sup>2</sup> は増築に伴い追加)
延床面積	20,539 m <sup>2</sup> (うち 4,800 m <sup>2</sup> は平成 26 年に増築)
構造・階数	RC 造一部 S 造、地上 4 階
整備時期	2008 年

特徴



低学年フロアトイレ

小便器ブースも設け、使いたいトイレを選ぶ工夫をしている。大人目線で中が見える低い仕切りで、トイレと周辺の教室を自然につないでいくように演出。

中学 2・3 年フロアトイレ

女子トイレの入口にベンチを設置。開放感のある大きな窓と共に人気のスペース。



アリーナ(体育館)横トイレ

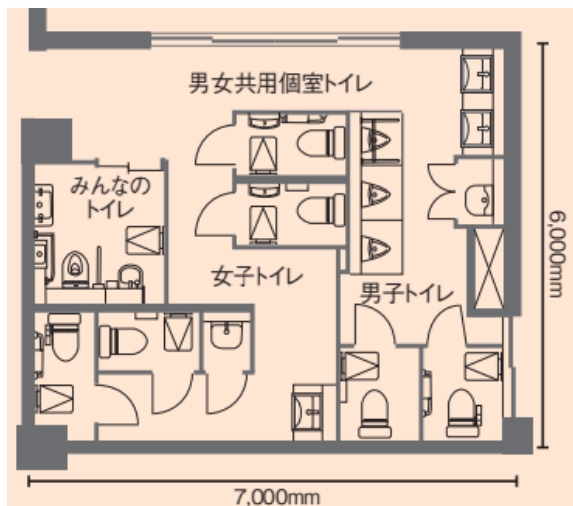
地域の人が集い、災害避難拠点としての役割も担うため、明るさと視認性が重視されている。



No.4 (先進的な学校トイレ)

学校名称	豊川市立西部中学校
所在地	愛知県豊川市国府町岡本 24-2
建物用途	中学校 (公立)
整備時期	2020年8月 (改修)
児童生徒数	604名 (2021年4月現在)

特徴



生徒が「選べる」トイレ

1階トイレでは、着替えに困るとの声から性的マイノリティに配慮して大便器のあるすべての場所にフィッティングボードを設置。男女共用、みんなのトイレ、どのトイレを使うか生徒が選ぶことができる。



1階トイレ入り口

みんなのトイレだけでなく、どのコーナーも利用する生徒の選択肢を増やすための配慮が行き届いている。



洗面コーナー

洗面コーナーは自動水栓を採用。使用後に次亜塩素酸を含む水を洗面器の排水口にふきかける機能付きのタイプで、排水口の汚れを抑制。



男女共用個室

手洗いを設置した個室完結型で、着替えのためのフィッティングボードと大便器下専用の防汚陶板を設置。

No.5 (先進的な学校トイレ)

対象建物	枚方市内小中学校 (公立)
計画策定期	2023年3月

特徴

SDGsの理念に基づいたトイレ環境整備における3つの方針

校舎内のトイレにおけるからかいや多様化する人権課題、更には避難施設としてのトイレとして、より多くの児童生徒等がよりストレスなくトイレを使用できることを目的として、「インクルーシブ化・ユニバーサル化」「バリアフリートイレ」「避難所としてのトイレ」に関する考え方を大切にし、SDGsの理念に基づいたトイレ環境を整備している。

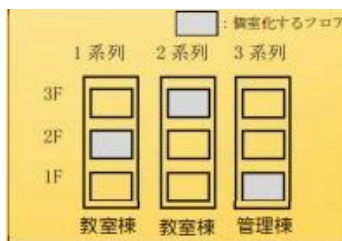
基本方針1:インクルーシブ化・ユニバーサル化

アンケートで挙げられた、トイレにまつわるからかいやいたずら、大便のがまん、汚れ等の課題を解決するため、以下のような方針とする。

- ・男子トイレについては、原則各系列で1フロア個室化とする。その他は小便器を設置することで多様なトイレ整備
- ・トイレの使い方マナー教育、小便器間に仕切りを付ける等、ソフト・ハード面での配慮



個室化した男子トイレ



個室化するフロア



小便器間に仕切り設置

基本方針2:バリアフリー化

車いす使用者や介助が必要な方々にとって十分なスペースを確保した上で、温水洗浄便座付き洋式トイレ、非常時の呼出ボタン、車いすに乗ったままでも快適に使用できる洗面台等を設置したバリアフリートイレを各階に整備。

基本方針3:避難施設としてのトイレ

基本方針1・2に準じて洋式トイレとバリアフリートイレを継続的に整備。なお、様式トイレは災害時用トイレとしてもカウント。



洋式トイレとバリアフリートイレの計画

No. 6（先進的な学校トイレ）

学校名称	嘉麻市稲築東義務教育学校
所在地	福岡県嘉麻市平 1536 番地
建物用途	義務教育学校（公立）
整備時期	2023年2月（竣工）
児童生徒数	470名（2023年2月現在）

特徴

時代の流れに合わせることでできるハード整備

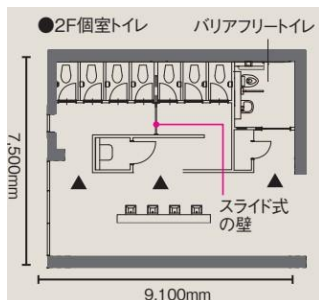
現在に即した計画としながらも、運用方法の変更に柔軟に対応できるよう整備。

1.スライド式の男女トイレを分ける壁

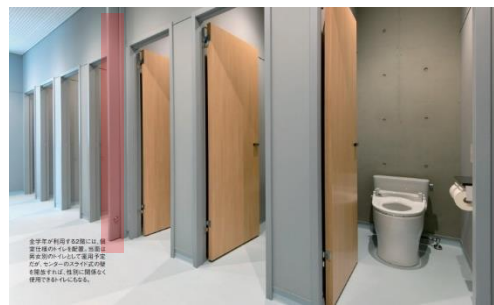
校舎の中央にあり、全ての学年が利用する2階のメディアコモンズ周辺のトイレは、男女に分けるセンター位置に、スライド式の壁（網掛け部分）を設置。現在は男女別トイレとして閉めたままでの運用を予定しているが、将来、その壁を開放することで、性別に関係なく誰もが使えるトイレを目指している。



メディアコモンズ



平面図



網掛け部分の壁がスライドする

2.サイン計画

運用方法が変更された際にトイレのサインは取り外し可能である。また、建物全体の色を抑え、サインに目が向けられるようにデザインされている。材料には市産材の杉が用いられている。



市産材を用いた取り外し可能なサイン



3.色彩計画

ジェンダーの観点からトイレ内の色彩もはっきりとした色ではなくグリーンやイエロー等の淡い色彩を用いている。



3階女子トイレ、ジェンダーの観点から、明るく清潔感のある色で統一し、色合いの調整が容易。



ジェンダーの観点から淡い色彩を使用した

4.児童の成長に合わせた手洗い場の計画

低中学年が利用するトイレの一部は、交流を目的に外に計画。高学年では、トイレ内で身だしなみを整えることのできる様に内側に設置。



3階ホール手洗いコーナー。中学年コモンズのスペースに手洗いとトイレが一体化している

No.1 (バリアフリー対応の学校施設)

学校名称	町田第一中学校
所在地	東京都町田市中町1丁目27番5号
建物用途	中学校(公立)、地域図書館、交流ホール
校地面積	15,113 m <sup>2</sup>
延床面積	13,603 m <sup>2</sup> (うち新築: 11,404 m <sup>2</sup> )
構造・階数	RC造・地上4階建
整備時期	2021年(新築)
児童生徒数	20学級: 724名(2023年4月7日現在)

概要

空調設備やLED照明の設置、バリアフリー化といった、生徒の教育環境の改善を第一に考えて設計・施工。その他、学校外との交流にも活用できるホールや災害時の避難施設機能を高める設備など、これからの学校に求められる機能を取り入れている。

配置図等



1階配置図

管理諸室は1階南側に集約し、2階中央に大会議場兼多目的室を配置し、多様な利用が可能な計画としている。



教室

段差を減らし、軽い力開け閉めできる引き戸を多く取り入れ、特性問わず利用しやすい造りになっている。



## バリアフリー化

### ○建物に出入りしやすい昇降口、玄関・円滑に利用できる階段

校舎内は、段差解消のためスロープや手すり等を設置しているほか、各種案内板に点字を配して視覚障害者への配慮を行っている。



外履き部分と上履き部分で床高を併せた昇降口 点状ブロック、手すりを設けた階段

### ○利用しやすいエレベーター

町田第一中学校には肢体不自由学級があり、給食の配膳や、緊急時にもストレッチャーを運搬できるように26人乗りのエレベーターを設置している。



エレベーターの外部

エレベーターの内部

点字を配したボタンパネル

同左

### ○誰もが利用できるトイレ

特別支援学級のある1階には複数のバリアフリートイレを設けているほか、それ以外の一般のトイレ内にも、広めの便房を設け、誰でも使いやすいトイレとしている。



バリアフリートイレ

広々とした一般のトイレ

一般のトイレ内の広めの便房

[出典]

町田市 <https://www.city.machida.tokyo.jp/index.html>

学校施設のバリアフリー化の加速に向けた取組事例集 (R4 文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/shuppan/mext\\_00004.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/mext_00004.html)

まちだの教育 108号 (2021年9月23日)

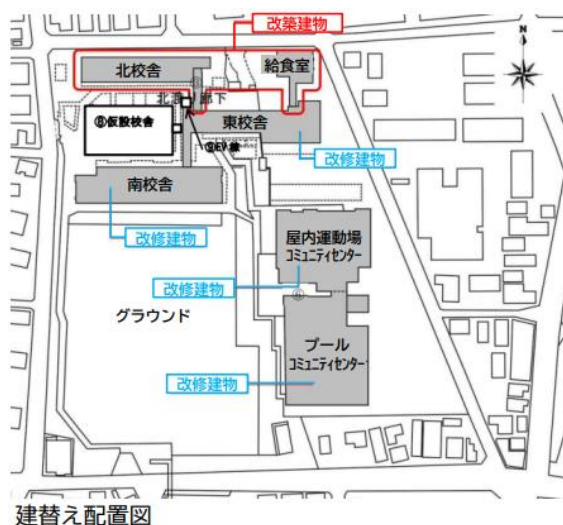
町田市立町田第一中学校改築事業計画説明会資料

No.2 (バリアフリー対応の学校施設)

学校名称	さいたま市立与野本町小学校
所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東3丁目5-23
建物用途	小学校(公立)、子育て支援センター、放課後児童クラブ、郷土資料館
延床面積	7,762㎡(うち教室棟:6,618㎡)
構造・階数	北校舎:RC造一部S造、地上3階地下1階建 東校舎:RC造、地上3階建 南校舎:RC造、地上4階建
整備時期	2020年(新築+改修)
児童生徒数	21学級:548名(2023年5月1日現在)

概要

地域住民の参画を得つつ、平成30年より北校舎等の改築及び東・南校舎、屋内運動場、プール棟の改修を実施し、令和2年に与野本町小学校複合施設として開設された。北校舎と給食室の改築に当たっては、市民や有識者からの意見を踏まえ、子育て支援センター、放課後児童クラブ、郷土資料館と複合化を行った。また、複合施設には地域の方の交流の場として、誰でも自由に利用可能な地域サロンも設けている。改築に合わせて、既存施設についても、スロープやバリアフリートイレ、エレベーターの設置を行った。



バリアフリー化

○安全で移動しやすい敷地内通路

屋外からのアプローチについて、スロープ設置等により段差を解消したり、通路の横幅の広さを確保したりすることにより校舎に入るまでの動線に十分配慮している。



校門から南校舎の玄関までのバリアフリー化された敷地内通路

## バリアフリー化

### ○建物に出入りしやすい昇降口、玄関・安全で移動しやすい敷地内通路

屋内運動場出入口にはスロープがなかった。そこで、校舎から屋内運動場へのアプローチの移動を円滑にするため、改修工事において、屋内運動場出入口にスロープを設置した。



東校舎の昇降口に設置されたスロープ



昇降口から屋内運動場への屋根付き敷地内通路



スロープの設置された屋内運動場の出入り口



### ○利用しやすい教室等

余裕教室に設置したプレイルームはカームダウンのための空間も兼ねている。特別支援学級の児童が、気持ちを落ち着かせたり、集中力を取り戻したりするために活用されている。

廊下からの視線を防ぐため、模造紙等で扉の窓を塞ぎ、児童への刺激を減らしている。



目隠しされたプレイルームのドア



プレイルームの内部

### ○誰もが利用できるトイレ

北校舎は、学校と地域の複合施設が併設されており、各フロアと地域交流スペース内にはバリアフリートイレが設置されている。



バリアフリートイレ内部



バリアフリートイレ内オムツ交換台

[出典] さいたま市 <https://www.city.saitama.jp/006/007/014/014/006/008/p068989.html>

学校施設のバリアフリー化の加速に向けた取組事例集（R4 文部科学省）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/shuppan/mext\\_00004.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/mext_00004.html)

No. 3 (バリアフリー対応の学校施設)

学校名称	沖縄市立越来（ごえく）小学校
所在地	沖縄県沖縄市越来 1-2-2
建物用途	小学校（公立）、地域連携室
延床面積	5,311 m <sup>2</sup> （うち校舎：4,960 m <sup>2</sup> ）
構造・階数	RC 造、地上 3 階建
整備時期	2021 年（新築）
児童生徒数	13 学級：259 名

概要

沖縄市は公共施設等のハード面の整備をはじめ、障害者福祉施策の推進のため、平成 5 年に「沖縄市人にやさしいまちづくり環境整備要綱」を策定した（最終改正：平成 27 年施行）。学校施設のバリアフリー化についても整備基準を定めており、学校施設のバリアフリー化を推進している。

バリアフリー化

○建物に出入りしやすい昇降口、玄関

昇降口は、市の整備方針のとおり、建物内外の床面を同一レベルとするとともに、床材も滑りにくい素材としている。



昇降口



地域連携室の玄関

○利用しやすい教室等

屋内運動場にはステージ昇降用のスロープを設置している。こうしたスロープは、市内のどの公立小中学校にも基本的に整備している。



ステージ昇降用スロープの入り口(写真右下)



ステージ昇降用スロープ

○円滑に利用できる階段

児童の成長に対応できるよう、手すりを 2 段にしているほか、踊り場も含めて上階まで連続して設けている。



階段の手すり

[出典]

学校施設のバリアフリー化の加速に向けた取組事例集（R4 文部科学省）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/shuppan/mext\\_00004.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/mext_00004.html)